

授業の視点

小グループによるピエロ側とサム側に分かれた討論は、ねらいを達成するために有効だったか。

1 主題名 「広い心をもって」

中心価値 2-(4)謙虚、広い心 関連価値 2-(2)思いやり、親切

資料名 「ブランコ乗りとピエロ」副読本『道徳きみがいちばんひかるとき』(光村図書)
「ブランコ乗りとピエロ」VTR(学研)

2 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値

社会生活において、自分の考えをはっきりともって強く主張することは大切なことである。しかし、同時に相手の立場や気持ちを考え、異なった意見に対しても、広い心をもって対処しようとする姿勢がなければならない。自分も失敗や過ちを犯すことがあり、相手もまた自分と同様なのだという事に気づくことが重要である。自分の考えをしっかりと持ち、お互いに主張しあうこともたいせつであるが、対立した考えであっても相手の立場に立って考え、よいところは謙虚に認め、広い心で受け入れていくことができるような態度を養う。

(2)ねらいに関わる児童の実態

この時期の児童は、個々の考えを主張しながら委員会活動やクラブ活動などを行っている。仲間を大切に、楽しい雰囲気での学習を進めることができ、思いやりを持った関係をつくるようになってきている。また優しい児童が多く、友だちが困っていると声をかけたり担任に知らせたりすることもできる。しかし、自分の意見を正しいものとして押し通し、相手の立場や気持ちを無視してしまうこともある。わがままを言ったり、協調できにくい児童に孤立傾向がややみられる。

グループ学習では、リーダーとしての役割を果たせる児童数名が中心になって進めることができる。素直に協力できる児童もいるが、自分のわがままが先行して勝手な振る舞いをしたり、協力するには具体的にどのように行動を起こせばいいのかが分からずいたりする様子が見られる。軽はずみ行動や逆に自分の思いにこだわりを持っていることから、対立してしまうことも多い。しかし、そこから考えを深めたりはせず、議論をさげ、すぐ相手の考えに合わせてしまう傾向も見られる。

子どもたちは、15人という少人数の学級なので、互いによく親しみ合って仲良くできる。普段の生活の中で自然に協力していると考えられる。

(3)資料について

本資料は、ブランコ乗りとピエロとのスターの座をめぐる対立に焦点を当てた話である。これからの児童の生活の中で出会うであろう他者との対立場面において、考え方のよりどころとしての寛容と謙虚について学ぶことのできる資料である。

前半部分は、ピエロとサムの言動は、互いに相手に対して素直になれず対立しがちな高学年児童に、共感的に理解されることと思われる。

後半部分では、目立っているのはサムへの憎しみではなく、逆に尊敬すらするピエロの言葉に驚きを感じるかもしれない。しかし、サーカスのリーダーとしてのピエロの言葉により、高学年として謙虚で広い心を持って行動するとはどういうことなのかを考えるよい機会を与えてくれる資料である。サムの行為の是非について話し合う中で「個人的と考えると許せない」という気持ちと、「サーカスのリーダーとして考えると」というピエロの葛藤について考えさせたい。サムの立場や考えを大切に、前向きに受け入れたピエロの広い謙虚な心のすばらしさに気づかせたい。

3 指導観

(1) 他教科等との関連

主として他の人とのかかわりに関すること

気持ちのよいあいさつ 2-(1) 礼儀	誰に対しても 2-(2) 思いやり・親切	男女の協力 2-(3) 友情・信頼	相手の立場で 2-(4) 寛容・謙虚	ありがとうの気持ちで 2-(5) 尊敬・感謝
4月 一秒の言葉	5月 世界がみとめたハンド	6月 英子ちゃんとおぼく	6月 ブランコ乗りとピエロ	11月 あと三十分おくれたら
5月 本当のあいさつ	10月 運動会の弁当	11月 友だちの肖像画		

心のノート (P 52～55) の活用

<体験活動>

- ・読み聞かせ(通年)
- ・校外学習
- ・こんにゃく栽培
- ・こんにゃく作り

<異学年での活動>

- ・体育・音楽集会
- ・集団登下校
- ・幼小合同運動会
- ・委員会
- ・クラブ活動
- ・体力づくり

<各教科等>

- 国語 見学したことをもとに
討論会をしよう
- 社会 これからの自動車産業
- 音楽 翼をください
- 保健 心と健康
- 体育 サッカー・バスケットボール
- 総合 福祉学習「車椅子体験をしよう」
地域の特産物を作ろう
「こんにゃくいも作り」
「バケツ稲作り」
- 特活 たてわりグループを作ろう
児童集会「誕生日集会」
6年生を送る会を成功させよう

<朝の会>

「思いやりのある子の姿」を唱和し、意識を高める。

<帰りの会>

「思いやりのある子の姿」について一日を振り返り、自己評価する。

<日常活動>

○学校全体で「思いやりのある姿」を教室や廊下等に掲示し、日々実践指導をする。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 元気よく、笑顔であいさつしよう。 | 2 人の話をしっかり聞こう。 |
| 3 相手の目を見て話をしよう。 | 4 人のいやがることはやめよう。 |
| 5 困っている人がいたら助けてあげよう。 | |

○お互いを認め合い、協力し合える学級作りを行う。

(2) 事前指導

① 他教科との関連

・学級活動での話し合いにおいて友だちの意見を受容的に聞く実践につなげるようにし、よりねらいを深まる。

・前回の道徳「みんなの『いこいの広場』」迷惑をかけずに行動するように、他の人のことを考える。

(3) 学習指導過程

① 導入

・舞台となるサーカス小屋等をイメージさせるためにも、本資料をビデオ化したVTRを視聴させる。

② 追求1

・VTR視聴で感じたの児童それぞれの思いを大切にし、心に残った場面や話し合いたいところを提案させる。

・児童の考えを深めかめる場面では、児童一人一人が自分なりの考えをもつことが道徳的価値追求の基盤となるため、考える時間を十分保障したい。

・小グループによる話し合いを行うが、発表させる場面では、ワークシート等を活用して、全員の意見を吸い上げる。

・時間の確保だけでは自分の考えをまとめられない児童には、個別支援をおこない、自分の考えをまとめられるようにする。

③ 追求2

・自己を振り返る段階では、ワークシートに自分の考えを記入することにより、普段の自分を振り返らせ、素直に記入できるようにする。

・ワークシートを活用にし、発表する時・聞く時の態度については、「思いやりのある姿」の2・3や「発表名人」「聞き方名人」の約束を意識させ、一人ひとりの考えや意見を大切にし、認め合っていけるように支援する。

児童の関心を高めることも効果的である。

④ 終末

・心のノートを効果的に活用し、教師が無理にまとめるのではなく、児童それぞれの思いを余韻に残すように終わる。

(4) 事後指導

① 児童一人一人のワークシートを添削する。

② 他教科等との関連

[学級活動] 学級活動での話し合いにおいて友達の意見を受容的に聞く実践につなげる

③ 家庭との連携

・学級通信等で授業の内容を紹介し、ねらいや価値等を振り返らせ、道徳的实践を促す。

4 校内研修との関わり

関連する内容項目 2-(2) 思いやり、親切

だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

5 本時の授業

(1) ねらい

謙虚で広い心を持ち、自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を養う

(2) 準備

道徳副読本、VTR、ワークシート、「心のノート」

(3)展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
導入	<p>1 主人公や登場人物、あらすじを知る。</p> <p>①ピエロとサムが握手している場面を見る。</p>		5分	<ul style="list-style-type: none"> ・中心場면을提示し資料への興味づけを図るとともに課題を持たせる。
展開 追求 1	<p>2 VTRを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いたいところや心に残った場면을チェックしながら見てください。 <p>3 資料について、話し合う。</p> <p>①ピエロは、約束を破って空中ブランコを続けたサムを見て、どんな気持ちになったでしょう。</p> <p>②演技が終わった後の、サムの疲れ果てた姿を見てピエロはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>③サムをにくむ気持ちがピエロから消えたのは、どうしてでしょう。</p>	<p>サムは自分ばかり目立とうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は、わたしの出番なのに。 ・時間をのばすなどあればいいのに。 ・サムは、一生懸命演技をしている。 ・約束を守らなかったのはいけないが、サムの演技はすばらしい。 ・わたしもサムのように一生懸命演技をしよう。 ・ピエロも自分の考えにこだわりすぎていたと反省したから。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・空中ブランコの演技の時間が終わったにもかかわらず、勝手に演技を続けるサムに対するピエロの怒りに気づかせる。 ・演技を終えたサムの姿を見て、最初の怒りが消え、おだやかな気持ちになったピエロの気持ちに気づかせる。 ・疲れ果てるほど一生懸命演技をしたサムの姿がピエロの心を打ち、考えを変えさせたことに気づかせる。 ・サムの自分のがんばりを認めてもらった喜びと、自分が目立つことだけ考えていたことを反省する気持ちに気づかせる。
追求 2	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>考え方や意見が対立したとき、どのようにして解決してきたか、話し合う。</p> <p>①サムとピエロとの関係を考え、「あのときの自分もそうだった。」とか「そうなりそうだったけど途中で気がついた。」というようなことはありましたか。またこれから友達と意見が対立したとき、どのように解決していこうと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見にばかりこだわらないで、友達の意見のいいところは受け入れていきたい。 ・相手の気持ちを考えながら行動したい。 	15分	<p>心のノートP.54-55を活用し、自分の経験と照らし合わせて広い心をもつことについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピエロとサムの関係を参考に、これからの自分について考えさせる。 ・1の活動で想起した経験を用い、もう一度同じようなことがあった場合、次はどんな行動をとるべきか考えさせる。

終末	4 教師の話聞く。 ・心のノートP. 52-53の詩を読む		5分	○自分の意見にこだわらず、謙虚な心で相手の意見を聞き入れた例を話し、広い心でいろいろな意見を大切にしていこうとする心情を高めたい。
----	----------------------------------	--	----	---

(4) 評価の観点

- ① ピエロ側とサム側の討論を通して、広い心をもって相手の意見を認めることができたか。
(討論、発表、観察)
- ② ピエロ側とサム側に分かれた討論は、ねらいを達成するために有効だったか。(発言)